個人情報を記載した検査承諾書兼申込書の控えの誤交付について

このたび、当センターにおいて、患者の個人情報が記載された検査承諾書兼申込書の控え（以下「書類」という。）を誤交付するという事案が発生しました。

このような事態を招きましたことをお詫び申し上げますとともに、再発防止に取り組んでまいります。

1　書類に記載されていた個人情報

患者氏名、患者生年月日、患者性別、患者ID、診療情報

2　事案の経過

令和8年8月28日（金）

・翌日退院する患者Aの書類準備において、看護師Aは患者Bの書類が紛れ込んだまま看護師Bへ引き継ぎ、引き継ぎ時および交付前のダブルチェックを行わずに看護師Bは、患者Aへ書類を交付した。

令和8年10月12日（月）

・患者Aの家族から「患者Bの書類が混入している」との電話があり、事案が発覚。

令和8年10月13日（火）

・患者Aの家族に対し、看護師長から電話にて経緯を説明するとともに謝罪した。

令和8年10月14日（水）

・患者Bの家族に対し、看護師長より電話にて経緯を説明するとともに謝罪した。

・また、患者Bに患者Aの書類を誤交付していないことを確認した。

令和8年10月15日（木）

・看護師長が患者Aの自宅を訪問し、患者Bの書類を回収するとともに、改めて謝罪した。

3　誤交付の原因

・看護師Aが患者Aの書類の中身を確認せずに看護師Bに引き継いだため。

・看護師Bが患者Aに書類を交付する際に、書類に記載された氏名等のダブルチェックを怠ったため。

4　再発防止策

〇事案発生部署に対し、以下の点を改めて周知した。

・看護師による書類交付時は、ファイルの中身の最終確認をするとともに、患者氏名等の照合についても複数名によるダブルチェックを徹底すること。

・本事案の概要について、センター内にて情報共有し、個人情報の取扱いについて周知するとともに注意喚起を行った。

以　上